

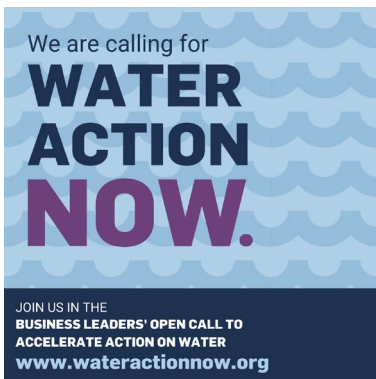
水資源保全の取り組みを加速する呼びかけに、ぜひ参加しませんか？

すでに50を超える主要なグローバル企業が団結し、参加を表明しています

2023年3月にニューヨークの国連本部で開催された2023年国連水会議では、50を超える主要なグローバル企業が団結し、SDGs目標6に対する共同コミットメント(水アクション加速に向けたビジネス・リーダーによる呼びかけ)を表明しました。この共同コミットメントは、世界の水危機の解決およびSDGs目標6達成のための民間企業の行動を促す、前例のない呼びかけです。

安全な飲料水と衛生へのアクセスは、人の健康と福祉のための最も基本的なニーズであり、人権として宣言されています。しかし、世界では約20億の人々が未だに安全な飲料水を確保できず、2030年には40%が水不足が予測され、水を守るための生態系が急速に破壊されています。水資源保全に関する取り組みは、急務となっています。

水アクション加速に向けたビジネス・リーダーによる呼びかけへの参加や、CEOウォーター・マנדートへの参画などを通して取り組みを加速させましょう。



[呼びかけに参加する](#)

「水アクション加速に向けたビジネス・リーダーによる呼びかけ」参加手順は、水資源保全に関する継続的な取り組みへの、エグゼクティブによる[コミットメント\(誓約\)](#)の提出のみです。

本共同コミットメントは、CEOウォーター・マンドート主導(左下ご参照)の下で行われ、水資源保全に取り組む企業連合(Water Resilience Coalition)も、この活動を支持しています。

CEOウォーター・マンドートとは？

CEOウォーター・マンドート(The CEO Water Mandate)は、国連グローバル・コンパクトのイニシアチブとして、世界の水問題に取り組むビジネスリーダー、そしてこの課題に取り組もうと考える意欲ある学習者(Learner)らが集う組織です。[日本企業を含む240社以上](#)が、CEOウォーター・マンドートを支持しています。



詳しくは[こちら](#)から

国連グローバル・コンパクトの重点5分野

国連グローバル・コンパクトはSDGsに向けた進捗を加速するため、次の5分野を重点分野に位置づけています。

